イルフォードギャラリーペーパー
「和紙 鳥の子」で作る

水張りパネルの作り方

用意するもの

・ギャラリープレステージ「和紙 鳥の子」　和紙の中でもほどよい厚みを持ち、丈夫な「和紙 鳥の子」がおすすめです。
・顔料プリンター　水張りをする場合は、顔料プリンターをお使いください。
・木枠パネル　・霧吹き もしくは 刷毛　・タッカー

1. プリント

和紙 鳥の子に、画像をプリントします。プリントの大きさは木枠パネルの寸法に、「パネルの高さと折り返し部分の長さ」を足して、大きめに設定します。

おすすめ余白サイズ：
パネルサイズ A5：+27mm ずつ（A4 にプリント）　※カットの際に余白を残してカットします。
パネルサイズ A4：+38mm ずつ（A3+ にプリント）

エプソンプリントレイアウトを使うと簡単！
エプソンプリンターをお使いの方は、無料でダウンロードできるレイアウトソフト「エプソンプリントレイアウト」の「ギャラリーラップモード」を使うと、簡単に設定ができます。

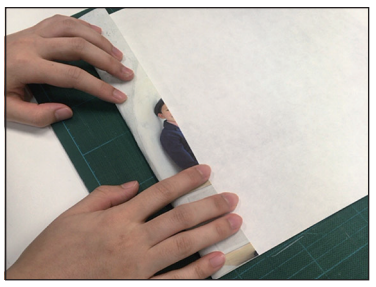
折り返し部分を想定し大きくプリント。

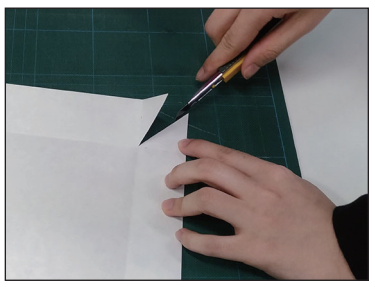
エプソンプリントレイアウト画面

2. 余分な部分をカットし、折り目をつける

絵柄でカットし、裏返して折り返し部分を四辺折って目安を作ります。鉛筆などで薄くガイドを書いておくと、パネルを置く位置がわかりやすくなります。また、四隅になめにカットを入れると、より作業がしやすくなります。

注意点
・A5 パネルを A4 ペーパーで制作する場合は数ミリ余白を残してカット
・A4 パネルを A3+ ペーパーで制作する場合は余白を残さずカット

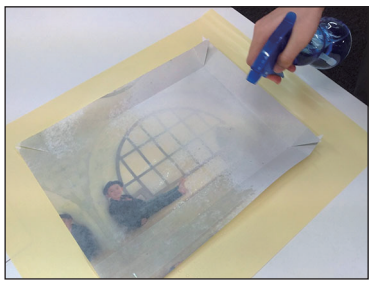

折り返し部分で折ります。

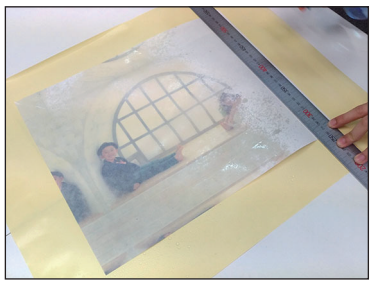

なめにカットをいれても◎

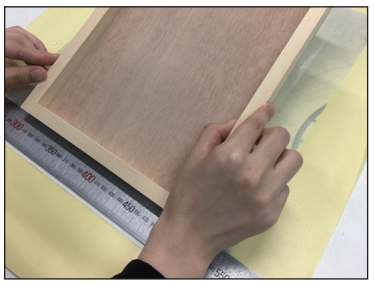
3. 紙を湿らせ、パネルを置く

プリントを裏返し、霧吹きや刷毛を用いて紙を湿らせます。
折り目の一辺に定規を当てておくと、位置がずれにくくなります。
定規を置いていた部分はパネルを置いてから湿らせます。

ここがポイント！
水をかける前にパネルの位置を合わせておくと、よりきれいに仕上がります。強くひっぱりすぎるとインクがはがれたり、位置がずれてしまうので注意が必要です。

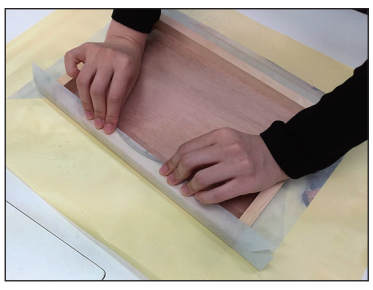

裏面に水を吹き付けます。

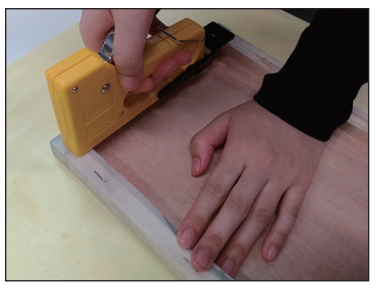

折り目の一辺に定規を当てておくと、パネルが合わせやすくなります。

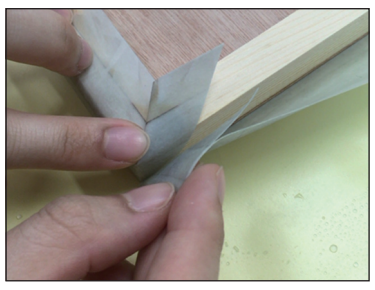

パネルを静かに置きます。

4. タッカーで裏面を固定する

紙が乾く前に木枠パネルを裏返して乗せ、タッカーを用いて固定します。
長辺側から固定しましょう。この時、プリントを強くひっぱるとずれてしまうので注意してください（少しのたわみは乾燥すると平滑になります）。


まずは長辺から合わせます。


等間隔で針を打ちましょう。


四隅は内側に折り込みます。

5. 平らな場所に置いて乾燥させる

紙と木枠パネルをタッカーで固定したら、ゆっくりと裏返し、平らな場所に置いて乾燥させます。このとき紙が多少浮いていることがありますが、乾燥とともに平滑になります。

ここがポイント！
裏面を下にして平らな場所で乾燥させると、木枠の重みで裏面も平滑になりきれいに仕上がります。

1 日ほど乾燥させましょう。